

段落相互の関係の把握 通過率39.6%

接続語「また」に着目することで、段落のつながりが不自然であることに気付く。

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

(文章中の○から㉑は段落の番号です。)

○ 平成二十五年九月に行われたオリンピックの開催地を決定する会議で、滝川クリステルさんが東京の良さを訴えるスピーチをしました。その中で滝川さんは、「おもてなし」という言葉を取り上げました。そして、その言葉には、訪れる人を心から大切に思い、お迎えするという深い意味があり、先祖代々受け継がれ、日本の文化にも深く根付いている言葉であると紹介しました。

㉑ わたしたちが当たり前に行っているこの「おもてなし」は、日本を訪れた外国人からみると、当たり前ではなく、日本の「おもてなし」に感動する人も多いようです。では、外国人は、日本の「おもてなし」のどのようなところに、感動しているのでしょうか。

㉒ また、トイレの美しさにも感動するそうです。清潔に保たれているだけでなく、花が飾ってあったり、はきものがすぐ使いやすいようにそろえてあったりするからです。これらには、トイレを使う人に気持ち良く使ってもらいたいという心がこめられています。

㉓ 和食のレストランに入ったときには、季節を感じさせる料理や食器などにも感動するそうです。これらには、お客様に味だけでなく、季節感や見た目の美しさも楽しんでもほしいという料理人の心がこめられています。

㉔ これらの例から、外国人は、「おもてなし」から日本人の相手を思いやる親切な心に感動していると考えられます。

㉕ 世界の人々も感動させる「おもてなし」は、茶道という古くから伝わる日本の文化にもみることができます。茶道は、庭や部屋のすみずみまで美しく整え、お茶とおかしなどでもてなす日本の文化の一つです。この茶道から「二期一会」とい言葉が生まれました。「二期一会」には、一度かぎりの出会いを大切に、まごころをこめて人と接しようという気持ちがかめられています。この「二期一会」の心こそ、日本の「おもてなし」の原点だといえるのではないのでしょうか。

㉖ このように「おもてなし」は、わたしたちの心に深く根付いている日本の文化であり、相手を思いやる心の表れなのです。わたしたちは、世界には「これる文化」として、「おもてなし」の心を、これからも大切に、引き継いでいきたいものです。

2 次の○の文は、㉑段落から㉖段落のいずれかの段落のうしろに入ります。あてはまる段落の番号を□の中に書きましょう。



段落のうしろに入ります。

ある外国人は、「日本人に道を聞いたら、必ず教えてくれる。自分が分からなかったら、ほかの人に聞いてくれる」と、日本人の親切な心に感動していました。

誤答を見ると、㉕段落の後ろに入ると考えた児童が多いことが分かる。これは㉕段落に初めて「親切な心」というキーワードが登場するため、そこだけに着目して㉕段落の後に抜けた段落が入ると判断したと考えられる。

内容の系統

第1・2学年
読むこと
時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。

第3・4学年
読むこと
目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。

第5・6学年
読むこと
目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。

主な解答例		割合 (%)
○	㉑	39.6
×	㉕	25.2
×	㉔	12.3
×	㉖	9.0
×	上記以外の解答	12.5
—	無解答	1.4

提案

段落相互の関係を指導する際には、文章の内容をしっかりとらえさせるようにしましょう。

段落相互の関係を指導する際には、例えば「○○を読み、内容を分かりやすくポスターに表して伝え合おう」といった単元を貫く言語活動を設定し、内容を構造化して表すといった、目的に応じて分析的に読む学習を仕組むことが大切です。その際、指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割に着目させることも大切ですが、キーワードに着目させながら、筆者が考えや意見を述べるために、どのような具体例を挙げているのか、文章の内容をしっかりとらえさせるようにすることが重要です。

中心となる語や文の把握 通過率25.2%

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。
 (文章中の○から七は段落の番号です。)

一 平成二十五年九月に行われたオリンピックの開催地を決定する会議で、滝川クリステルさんが東京の良さを訴えるスピーチをしました。その中で滝川さんは、「おもてなし」という言葉を取り上げました。そして、その言葉には、訪れる人を心から大切に思い、お迎えするという深い意味があり、先祖代々受け継がれ、日本の文化にも深く根付いている言葉であると紹介しました。

二 わたしたちが当たり前に行っているこの「おもてなし」は、日本を訪れた外国人からみると、当たり前ではなく、日本の「おもてなし」に感動する人も少いようです。では、外国人は、日本の「おもてなし」のどのようなところに、感動しているのでしょうか。

三 また、トイレの美しさにも感動するそうです。清潔に保たれているだけでなく、花が飾ってあったり、はきものがすぐ使いやすいようにそろえてあったりするからです。これらには、トイレを使う人に気持ち良く使ってもらいたいという心がこめられています。

四 和食のレストランに入ったときには、季節を感じさせる料理や食器などにも感動するそうです。これらには、お客様に味だけでなく、季節感や見た目の美しさも楽しんでほしいという料理人の心がこめられています。

五 これらの例から、外国人は、「おもてなし」から日本人の相手思いやる親切な心に感動していると考えられます。

六 世界の人も感動させる「おもてなし」は、茶道という古くから伝わる日本の文化にもみることが出来ます。茶道は、庭や部屋のすみずみまで美しく整え、お茶とおかしなどでもてなす日本の文化の一つです。この茶道から「一期一会」という言葉が生まれました。「一期一会」には、一度かぎりの出会いを大切に、まごころをこめて人と接しようという気持ちがこめられています。この「一期一会」の心で、日本の「おもてなし」の原点だとはいえるのではないのでしょうか。

七 このように「おもてなし」は、わたしたちの心に深く根付いている日本の文化であり、相手を思いやる心の表れなのです。わたしたちは、世界にはこれだけの文化として、「おもてなし」の心を、これからは大切に、引き継いでいきたいものです。

三 次の文は、「おもてなし」について、文章どどのように書いてあるかをまとめたものです。
 ○と□に入るものをかきまわし、言葉を、文章中から抜き出して書きまわしなさい。

「おもてなし」は、相手思いやる_____である。
 _____な心の表れであり、世界には_____。

ここを読むだけでは十分ではない。

「おもてなし」に関わる情報を関連付けながら読む。

児童は最後の段落に着目して「おもてなし」についてまとめようとする。しかし、そこを読むだけではまとめるのに必要とされる言葉が足りず解答できない。五段落が中まとめになっていることをとらえ、そこからも「おもてなし」に関わる情報を取り出し、最後のまとめと関連付けながら読む力が必要がある。

内容の系統

第1・2学年
読むこと
時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。

第3・4学年
読むこと
目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。

第5・6学年
読むこと
目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。

主な解答例		割合 (%)
○	親切, 日本の文化	25.2
×	「親切」と解答しているが、「日本の文化」と解答していないもの	34.9
×	「親切」と解答していないが、「日本の文化」と解答しているもの	11.2
×	上記以外の解答	25.6
—	無解答	3.1

提案

目的に応じて中心となる語や文をとらえる学習を仕組みましょう。

単元を貫く言語活動を設定し、児童が目的に応じて中心となる語や文をとらえながら文章を読む学習を仕組むことが必要です。例えば、「おもてなし」をキーワードに、児童の知りたい、考えたいという思いを膨らませ、「わたしたちのできる『おもてなし』について考えよう」といった単元を貫く言語活動を設定します。その上で文章を読ませ、「おもてなし」に関する複数の情報が文章中に書かれていることに気付かせます。それらを取り出させ、関連付けながら記述させるとともに、それを基に自分たちの生活と関連付けさせたり、自分の考えを述べさせたりする学習を展開していくことなどが考えられます。

文章の構成 通過率50.7%

【前田さんの文章の組み立て】

一 調べた理由
二 調べた結果
三 結果から分かったこと
四

ア 考えたこと
イ 調べた結果
ウ 結果の予想
エ 調べた方法

①

②

四 次の文章は、前田さんが、「サンフレッチェ広島」の順位と観客数の関係について調べたことを報告するためにまとめた文章です。あとの問いに答えましょう。

サンフレッチェ広島は、前田さんが、サンフレッチェ広島の順位と観客数の関係について調べた理由

一 調べた理由
二 調べた結果
三 結果から分かったこと
四

【資料】

サンフレッチェ広島は、前田さんが、サンフレッチェ広島の順位と観客数の関係について調べたことを報告するためにまとめた文章です。

一 調べた理由
二 調べた結果
三 結果から分かったこと
四

○ 順位が一位になった年は、そうでない年にくらべ、観客数が多い。
○ 順位が七位になった年は、そうでない年にくらべ、観客数が少ない。

四 これらのことから、サンフレッチェ広島は、順位によって観客数は変わるといえると思います。観客の中には、順位によって試合を見に行かなくなるとかを決めている人もおられるのではないでしょうか。

わたしは、たぐさんの人が試合を見に行っておうえんすれば、選手も力が出て試合に勝つと思うので、順位を上げるためにみんなが試合を見に行っておうえんするとよいと思います。

誤答を見ると、どちらも間違えた児童の割合が 32.0%と一番高い。本文に書かれている内容と選択肢にある小見出しを対応させながら読むことができていることに加え、報告文の特徴が理解できていないことが考えられる。

内容の系統

第1・2学年
書くこと

自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。

第3・4学年
書くこと

文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。

第5・6学年
書くこと

自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること。

主な解答例		割合 (%)
○	①に イ , ②に ア	50.6
△	①に い , ②に あ	0.1
×	①に イ と解答していないが、②に ア と解答しているもの	9.6
×	①に イ と解答しているが、②に ア と解答していないもの	7.3
×	上記以外の解答	32.0
—	無解答	0.4

提案 日常生活に必要とされる様々な種類の文章を取り上げて指導しましょう。

学習指導要領には「書くこと」の言語活動例として、日常生活に必要とされる様々な種類の文章、例えば記録文、報告文、説明文などが示されています。これらをまんべんなく取り上げて、それぞれの文章の特徴を理解させることが必要です。その際、書かれている内容と小見出しとがきちんと対応しているかなど、内容面についてもしっかりと確認させましょう。

また、報告文等を書く場合には、自分の立場や主張の根拠として、文章だけでなく図表やグラフなどの資料を意図的、計画的に活用させ、数値や事例などを引用できるように指導することも大切です。